

登録コード	TT210500	開講年度	2026					
授業科目	情報数理・融合システム概論					担当教員	佐藤 真平	
英文授業名	Introduction to Informatics and Interdisciplinary Systems					副担当		
単位数	1	講義期間	前期（随時）	曜日・時限	集中・不定期		対象学生	学部1年生
講義室				授業形態	講義	遠隔授業科目	該当	備考
信大コンベンション	非該当							
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】					⇔	【授業の達成目標】	
	26Tカリ							
	【26T～】共通教育による幅広い教養と、工学の専門分野における基礎学力が身についている。					⇔	本講義は工学部で実施されるコース横断型の科目として開講される。コース横断型の科目では自分の専門分野だけでなく工学全体を俯瞰して見ることのできる能力や、自分の境界領域で問題に遭遇した時に解決の糸口を見出す力を身につけ、イノベーションの核となる幅広い見識を持ちグローバル感覚を備えることを目的とする。自コースと他コースの考え方や手法の違いを把握し、広い視野に立ったものの見方や、応用力・汎用的能力を身につける。情報数理・融合システム概論では、現代社会を支える通信・コンピュータ関連の技術に関する基本知識を習得し、工学的な取り組みができるようになることをめざす。	
(2)授業で学べる「テーマ」	その他							
(3)全学横断特別教育プログラム								
(4)授業の概要	現代社会は様々な情報・通信システムによって支えられており、その技術的・社会的役割は益々重要になる。中でも情報通信、コンピューターサイエンス等に関する基礎知識は、工学全般を俯瞰できる力を持つために重要である。この授業では「通信システム」「情報システム」について、我々が日常使用している技術などを題材として取り上げつつ、その歴史的経緯や基本思想、考え方などについて基礎的な知識を習得する。							
(5)授業計画	第1回：情報通信の基礎と歴史 第2回：情報工学の基礎と歴史 第3回：デジタル通信技術概論 第4回：インターネット技術概論 第5回：コンピューターサイエンス概論 第6回：コンピューターシステム概論 第7回：コンピューターアプリケーション概論 第8回：人工知能概論							
(6)成績評価の方法	講義を通して学んだことに加え、自ら調べた事柄、各自の意見、制作物などをまとめたレポートにより評価する。							
(7)成績評価の基準	成績はレポート課題などの提出物の完成度により評価する。 成績は下記の基準に照らした評価を点数化しその合計値を最終評価とする。 合計値が60点に達しない場合には単位認定されない。 (a)提出物の内容が簡潔かつ明確に表現されていること (b)提出物の構成が論理的に妥当であること (c)提出物のテーマが授業の趣旨や指定テーマに沿ったものであること、かつ教員を感心させるレベルに達していれば「卓越している(100)」とする (a)から(c)の3項目を満たしていれば「かなり上にある(90)」とし、(a)と(b)の2項目を満たしていれば「やや上にある(80-70)」、(c)の項目を満たしていれば「水準にある(60)」とする。							
(8)事前事後学習の内容	各回の授業終了後に毎回レポート課題を出題する。 1回の講義に対し、復習として少なくとも1時間の自習時間が必要である。							
(9)履修上の注意	提出物については、他者のレポート、書籍、Webページなどからの剽窃（他人の文章やアイデアなどの盗用）、生成系AIの出力が一部でも含まれていた場合には単位認定されない。							
(10)質問,相談への対応	デジタルメディアにおけるコミュニケーションマナーを順守し、当該授業回の担当教員に電子メールにて質問すること。							
(11)その他								
【教科書】	指定しない							
【参考書】	教養としてのコンピューターサイエンス講義 第2版 ブライアン・カーニハン, 坂村 健, 酒匂 寛 日経BP 2,970円（税込）							